

住友生命健康保険組合の【データヘルス計画】

当健保では、これまでも加入者の健康増進のために、さまざまな保健事業を実施しております。

2024年度からは「第3期データヘルス計画」を新たにスタートさせることとなり、第2期の結果を踏まえ保健事業の実効性を高め、事業主が推進する「健康経営」とも連携しながら「コラボヘルス（事業主と健康保険組合の連携）」を進めてまいります。

既存の保健事業は効率的、効果的な運営で継続し、データ分析で得られた当健保の新たな課題は費用対効果やPDCAサイクルを意識しながら解決を図り、より一層の加入者の健康増進、医療費の抑制に取り組んでまいります。

◇データヘルス計画として実施する保健事業一覧

健診	特定健診
	人間ドック補給制度
	乳がん検診補給制度
保健指導	特定保健指導（40歳以上）
	生活習慣改善指導（35～39歳）
	糖尿病重症化予防
広報	健康増進サービス「kencom」
	機関紙「ヘルシーライフ」
	ホームページ

保険給付費抑制	医療費通知
	後発医薬品差額通知
	電話健康相談「ハロー健康ダイヤル」
軽運動の促進	家庭常備薬斡旋
	ウォーキングキャンペーン
	スポーツクラブ提携